



平成30年度大学改革シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会
会長 山極 壽一(京都大学長)

平成30年度大学改革シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、平成16年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。

「大学改革シンポジウム」は、国立大学協会が平成20年度から経費や広報の一部を支援し、共催としているもので、国立大学が、学内の改革状況を市民の皆さまに公開し、国立大学の果たす役割の重要性や存在意義についてご理解いただくために開催するものです。

また、当協会は、平成22年度から、「国立大学フェスタ」と銘打ち、10月及び11月の2か月間に各国立大学等が地域と連携しながら実施する、シンポジウムやオープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。「大学改革シンポジウム」についてもこの「国立大学フェスタ」の一環としております。

こうした活動を展開することによって、真に実効性のある国立大学の改革や存在意義等について引き続き、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様のご理解をいただくよう努力してまいります。国立大学は、こうした機会に地域の方々からのご意見を受け止め、皆様方のご期待に応える大学を目指して一層努力いたしますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

本日開催される大学改革シンポジウムは、関係大学のご尽力により魅力ある企画内容となりました。地域の皆様、地元の自治体、政財界の皆様には特色ある取組等をご理解いただくとともに、意見交換の場とも位置づけておりますので、国立大学へのご意見をいただく機会として活用いただけることを期待しております。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。